

■までいな家の目的■

1. 村づくりの理念のまでい(「真手」の意味、飯館弁でじっくり、丁寧な)による低炭素型田園ライフを実現する。
2. 菜園・ガーデン、農作業場、アート活動等の多様なクリエイティブ空間を用意する。
3. “半農半X”型のライフスタイルを堪能できるエコ田園住宅を村民参画で計画・建設し、エコ定住・移住を促す。
4. ランドスケープ、緑、菜園、庭、環境、農林地と融合する「までいな家(ZERO+αハウス)」の生活体験を提供する
5. 役場の隣に建設し、地球にやさしいまでいな暮らしを体感できる、村のエコライフ学習センター機能を果たす。
6. までいライフの創造に寄与する。



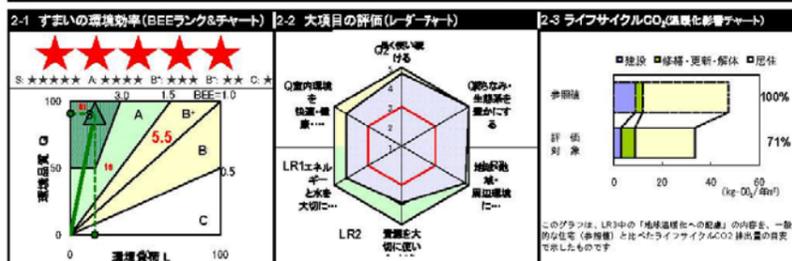
当初設計外観イメージ (実施設計とは異なる)

■建物の基本性能■

- ・建物の断熱性能以外に、耐久性・耐震性・環境負荷軽減・景観などにも配慮
- ・CASBEEによる客観評価

CASBEE™ すまい[戸建] | 評価結果 |

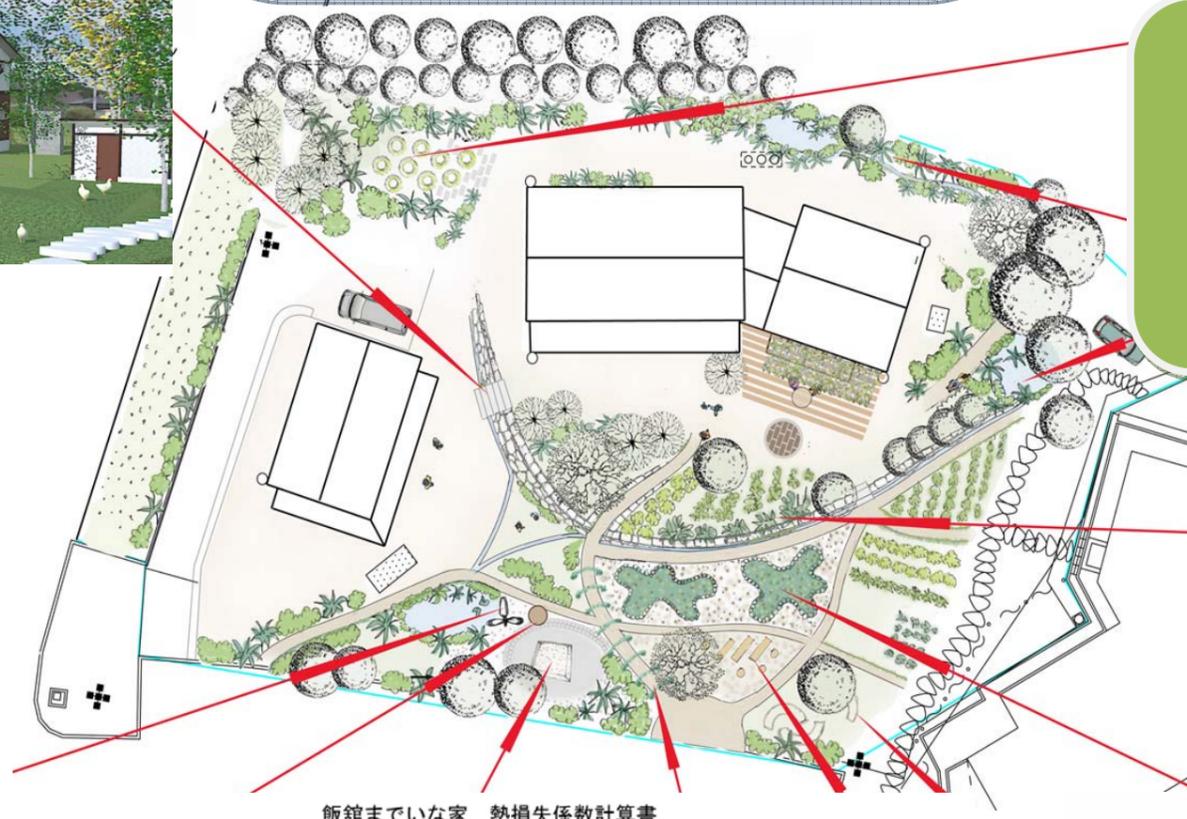
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	までいな家	仕様等の確定状況	建物の仕様
竣工年月	2014年3月	予定	持ち込み家電等
建設地	福島県相馬郡飯館村	確定	外観の仕様
用途地域	農用地	(備考)	
省エネルギー地域区分	II	「までいな家」プロポーザル案(2009.07.27作成)	
構造・構造	木造・軸組構造	仮	
階数	地上2F	仮	
敷地面積	2,235 m ²	仮	評価の実施日
建築面積	189 m ²	仮	2009年7月24日
延床面積	125,216 m ²	仮	作成者
標準人数	8	仮	豊田設計事務所 豊田善幸
			確認日
			2009年7月24日
			確認者
			豊田設計事務所 豊田善幸



飯館村「までいな家」 設計および建設のための基本構想

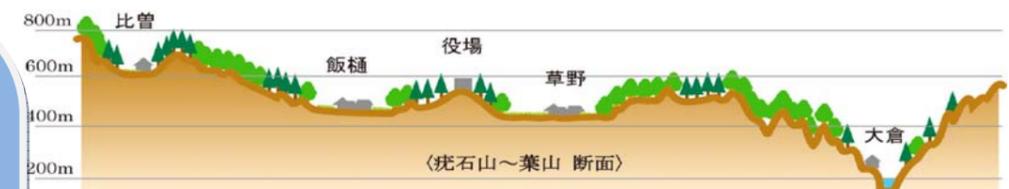
「までい」を実現する住まいの空間、間取り、仕掛け
 《大いなる田舎までいライフいいたて》の理念により
 「多様な生き方」「資源・文化」「モノ・人の本質」
 を大切に「までいライフ」の空間
 「までいな家(ZERO+αハウス)」を村民協働で提案する

- 【宣言1】人と地域のつながりを“までい”に
- 【宣言2】からだと大地を“までい”に
- 【宣言3】家族の絆を“までい”に
- 【宣言4】「食」と「農」を“までい”に
- 【宣言5】人づくりを“までい”に



熱損失係数

部位	断熱仕様	部位面積 A[m ²]	熱貫流率 K[W/m ² K]	熱損失 A・K・H[W/K]	熱損失係数 Q[W/m ² K]
屋根	HGW16K 100&200mm	199.98	0.14	27.53	0.13
外壁	HGW16K 120mm + GWS32K+ 50mm	216.55	0.246	53.25	0.25
階間部	HGW16K 120mm + GWS32K+ 50mm	9.55	0.288	2.75	0.01
基礎	GWB48K 100mm	-	-	58.19	0.28
開口部	-	50.00	-	125.20	0.59
換気	換気回数 0.5回 (70% 熱交換換気)	630.82	-	38.97	0.18
相当延べ床面積		210.82			
住宅全体				305.88	1.451



■地域と敷地の特徴■

1. 阿武隈山系北部、平均標高 450m、6,200 人の農山村
2. 村づくりの基本理念「までいライフ」は、じっくり・丁寧な意味の東北弁のまでい(真手)の理念
3. 木質バイオマスエネルギー活用
4. エココミュニティビジネスの創出
5. 敷地は、村役場・村の本屋・中学校・老人ホーム(チップボイラー使用)のある中心の場に隣接

■までいな家のコンセプト■

- 村で見かける「半農の暮らし」のモデルルームとして・・・
- ・古民家をイメージする中央の母屋「親の家」
 - ・若夫婦向けに増築した建物をイメージする「子どもの家」
 - ・農家の納屋をイメージする「作業場」
 - ・それら3つのブロックにつつまれた「食べる庭」

■風土を考慮した飯館村までいな家■

- ・飯館村の気象条件、伝統的な住まい文化、風土を考慮した住まい造りを行う。
- ・エコロジカルな環境調和型の装置・設備の導入と、外部環境(微気象形成空間)とのつながりを重視したパッシブな風土共生技術の仕掛けと空間とする。
- ・施工の段階からも環境に配慮する仕組みや、出来た後の継続的な環境性能評価が必要。

村典型農家の屋敷地の断面図

